

東広島市立向陽中学校 第 1 学年 外国語科 学習指導案	
単元名	クラスメイトのことをもっと知ろう
本単元で育成する資質・能力	豊かな表現力

- 1 実施日 令和元年6月27日(木) 4校時 11:35~12:25
- 2 学年・学級/場所 1年2組(男子20人, 女子19人 計39人) / 少人数教室2
- 3 単元の目標
 - ・興味があることについて, 相づちを打ったり, 関連する質問をしたりしてやり取りを継続する。
(外国語表現の能力)
 - ・興味があることについて, 間違ふことを恐れず, やり取りを続ける。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
 - ・be動詞や一般動詞を用いた肯定文・疑問文・応答文・否定文の構造を理解する。
(言語や文化についての知識・理解)

4 本単元を指導するにあたって

(1) 単元観

本単元では, 中学校学習指導要領外国語編(平成29年)「話すこと [やり取り]」のア「関心のある事柄について, 簡単な語句や文を用いて即興で伝えあうこと」の指導をする。言語材料としては Lesson2 では be 動詞 is を用いて肯定文, 疑問文・応答文, 否定文, What is ~? を扱い, Lesson3 では一般動詞の肯定文, 疑問文・応答文, 否定文, What(名詞) do you~? を扱っている。

やり取りを継続するための相づちや繰り返し, 関連質問を段階的に指導するために, Lesson2 と Lesson3 を合わせて1つの単元を構成した。Lesson2 は相づちを打ったり, 繰り返したりするなど, 相手の話に対しての反応の仕方を指導するのに適している。また, Lesson3 は相手が興味を持っていることについての質問の仕方を指導するのに適しており, やり取りを継続する際に必要なスキルを指導することができる。本校のCAN-DOリスト(学習到達目標)「話すこと [やり取り]」では, 「自分の身の回りのことについて, 基本的な表現を用いて即興的に質問したり答えたりして, 先生や友達と会話することができる」としている。したがって, 本単元では, 相手のことをよく知るために, 興味のあることを話題にし, 相づちや繰り返しなど相手の話に対して反応したり, 関連する質問をしたりして, やり取りを継続させる力を養う。

(2) 生徒観

今年度の1学年は小学校第6学年で, 「話すこと」「聞くこと」に加え, 「読むこと」「書くこと」に慣れ親しんだ経験のある生徒である。校内でALTに出会っても自然と英語であいさつをすることができる生徒が多い。

以下は5月末の本学級の英語学習意識調査で肯定的な回答をした生徒の割合を示している。70%以上の生徒が英語学習に関して肯定的に捉えていることが分かる。小学校の外国語活動で扱ったことを電子黒板や教材を使って提示すると, 既習の内容を思い出し, 楽しく学習することができる。特にチャンツやジングルなどで学習したことは, 印象に残っている。

一方で, 帯活動などでペアでやり取りをする際に, やり取りが進まないペアもある。積極的にコミュニケーションをとることが苦手だったり, どうやって英語で対話をしたらよいか, 相手の言ったことにどのように反応したらよいか分からない生徒もいる。自信をもって対話をしたり, 発表したりできないことから, 英語学習に対して否定的な評価をしている生徒もいる。

1	英語の勉強は好きです。	73.7%
2	英語の授業はよく分かります。	76.3%
3	もっと英語で友達や先生と話せるようになりたいです。	89.5%

4	英語の授業では相手から質問や依頼を聞くとき、相手が何を求めているのかを注意して聞き、それに答えるようにしています。	78.9%
5	英語の授業では自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。	78.9%
6	英語で友達とやり取りすることは楽しいです。	81.6%
7	小学校での外国語活動は楽しかったです。	71.1%

(3) 指導観

本単元では、クラスメートをよく知るために、興味があることを話題にし、相手の話に対して相づちを打ったり関連する質問等をしたりして、やり取りを継続することができる力の育成を目指している。また、単元の最後に、生徒同士で同話題についてやり取りをするパフォーマンステストを実施する。そのために、次のように指導をしていく。

- ・帯活動でやり取りを行う際に、相づちなどの反応をまとめたぺらぺら英語シートを利用させる。相づちについては、既に小学校外国語活動において既習であるが、中学校では相づちを打つ場面を意識させる。それぞれの相づちがどのような場面で使用されるかを考えさせながら、やり取りの中で繰り返し活用させる。
- ・教科書本文を通して、相づちの入れ方や質問の仕方等に気付かせ、やり取りの継続の仕方を学ばせる。
- ・やり取りではペアを変えて何度も行い、同じ表現を繰り返し使うことで生徒の英語の習熟を促すことで達成感を味わわせ、自信を持って英語を話せるようにする。また、中間評価を行うことで、友達が使う表現を取り入れさせたり、対話を継続するのに有効な表現に気付かせるなどして、やり取りで使える表現を増やす。
- ・授業の最後に、できるようになったことや使えるようになった表現などを振り返らせるとともに、うまくできなかったことについても振り返らせ、課題を持たせることで次の授業につなげる。

CAN-DO リストの学習到達目標 話すこと [やり取り]

本校の各学年学習到達目標	
3 学年	与えられたテーマについて、様々な既習の英語を用いて、事実や根拠を示しながら自分の考えや気持ちを即興的に伝えることができる。
2 学年	日常生活の身近なことについて、簡単な英語を用いて、事実を示しながら自分の考えや気持ちを即興的に伝えることができる。
1 学年	自分の身の回りのことについて、基本的な表現を用いて即興的に質問したり答えたりして、先生や友達と会話をすることができる

5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
興味があることについて、間違ふことを恐れず、対話を続けようとしている。	興味があることについて、相づちを打ったり、関連する質問をしたりしてやり取りを継続することができる。	/	be 動詞や一般動詞を用いた肯定文・疑問文・応答文・否定文の構造を理解している。

6 単元ゴール

<p>コミュニケーションの目的・場面・状況</p>	<p>9月の体育大会で実施するソーランの練習が7月から始まる。お互いの良さを知り、互いに認め合うことで、団結してソーラン練習を始めることができる。そこで、クラスメイトのことをもっと知るために、興味があることについて、相手の言ったことに対して相づちを打ったり、質問したりしながら、やり取りをする。</p>
<p>目指す発話例</p>	<p>A: I like soccer. Do you like soccer? B: No, I don't. A: I see. Do you like baseball? B: Yes, I do. A: What team do you like? B: I like Carp. A: Oh, Carp. Me too. I am a Suzuki fan. B: Really? I am a Kikuchi fan.</p>

7 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

関連する言語材料

We Can 1, 2	We Can 1, 2 → 中学校	中学校
<p>(HF1)Lesson7 What's this? It's a triangle.</p>	<p>答えるときに冠詞+形容詞+名詞が加わる。</p>	<p>Lesson2 What's this? It's an <u>old</u> calendar.</p>
<p>(WC1) Unit9 Who is your hero? This is my hero. (WC2) Unit3 He is famous. She is great.</p>	<p>疑問文とその応答が加わる。</p>	<p>Lesson2 <u>Is she</u> your friend? <u>Yes, she is.</u> <u>Is he</u> a PE teacher? <u>No, he isn't.</u></p>
<p>(HF1)Lesson4 Do you like bananas? Yes, I do. / No, I don't.</p>	<p>質問する。 応答+新たな情報 応答する。 → 報を加える。</p>	<p>Lesson3 Do you play the guitar? No. I don't play the guitar. <u>I sing.</u></p>
<p>(HF1)Lesson5 What color do you like? I like red.</p>	<p>会話に代名詞が加わる。 時間や場所, 目的や頻度を表す表現が加わる。</p>	<p>Lesson3 What food do you like? I like dashimaki. I <u>sometimes</u> cook <u>it for my family.</u> I play <u>it at school every day.</u></p>

8 指導と評価の計画

次	ねらい・学習活動	評価規準 評価方法
1 課題設定	<p>どのようにしたらクラスの友達のことをよく知るために対話が続けられるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●会話を続けるにあたって、本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達や先生と楽しく会話を続けるために必要な技能を考える ・好きなことや得意なことなどを伝えるために必要な技能を考える。 ・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 	
2 情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> ●Lesson2の本文（P. 29）を読んで、対話を続けるポイントを見つける。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の対話文に相づちなどの言葉を入れて反応する。 ・今まで使ってきた相づちの使用場面を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Ken: This is a fox. It is from Hokkaido. Ms Brown: <u>Oh, Hokkaido. I see.</u> Is that a hawk? Ken: No, it is not. It is an owl. Ms Brown: <u>Oh, I see.</u> Is it from Hokkaido too? Ken: Yes, it is.</p> </div>	ア（行動観察） エ（後日ペーパーテスト）
3	<ul style="list-style-type: none"> ●Lesson2の本文（P. 31）を読んで、対話を続けるポイントを見つける。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読んで、相づちを打ったり相手の言ったことを繰り返している所を探す。 ・教科書の対話文に相づちなどの言葉を入れて、対話を継続するスキルを学ぶ。 ・相づちだけでなく、形容詞を使うと詳しく感想を付け加えられることを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Ms Brown: What's this? Ken: It's a coin. Ms Brown: <u>A coin.</u> Really? Ken: Yes. It's very old. Ms Brown: I see. What is that? Ken: It's an old calendar. Ms Brown: A calendar? It's interesting. Ken: <u>I think so too.</u></p> </div>	ア（行動観察） エ（後日ペーパーテスト）
4	<ul style="list-style-type: none"> ●Lesson2の本文（P. 33）の対話に3人目の登場人物を加えて演じる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の対話文に3人目の登場人物として相づちなどの言葉を入れて、対話を継続するスキルを学ぶ。 ・3人目の登場人物の立場によって相づちの打ち方が変わることを学ぶ。 ・3人で協力してその場面の内容が伝わるようになりきり音読をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) A: 学校のことをよく知らない人 Meiling: That is Kumi. → <u>A: Oh, Kumi.</u> Meiling: She is good at kendo. → <u>A: Oh, she is good at kendo.</u> Ms Brown: Is she your friend? Meiling: Yes, she is. → <u>A: I see.</u> Meiling: That is Mr Sato. → <u>A: Oh, Mr Sato.</u> Ms Brown: Is he a PE teacher? Meiling: No, he isn't. → <u>A: Really?</u> Meiling: He is a math teacher. Ms Brown: Oh, really?</p> </div>	ア（行動観察） エ（後日ペーパーテスト）

<p>5</p> <p>整理・分析</p>	<p>●自分の好きなことを伝えたり，相手の言ったことに相づちを打つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書本文（P. 37）を通して，一般動詞の肯定文の使い方を理解する。 教科書本文から，自分の好きなものや大切なものを紹介するときに使われる表現を探す。 場所や時間を表す表現を学び，関連する質問をする練習として取り上げる。 相手の言ったことを繰り返したり，相づちを打ちながら聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: I like soccer. B: Oh, you like soccer. Me too. I like baseball too. A: Really?</p> </div>	<p>エ（後日ペーパーテスト）</p>
<p>6</p>	<p>●一般動詞の疑問文を用いた文の構造を理解し，相手の関心のあることをたずねたり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書本文（P. 39）を読んで，一般動詞の否定文や疑問文の文構造，その応答の仕方について理解する。 相手の言ったことを繰り返したり，相づちを打ったり質問をしながら会話を続ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: I like soccer. B: Oh, you like soccer. A: <u>Do you like soccer?</u> B: No, I don't. But I like basketball. A: You like basketball. B: Oh, <u>do you like basketball?</u> A: No, I don't. It's hard. B: Oh, I see.</p> </div>	<p>ア（行動観察） エ（後日ペーパーテスト）</p>
<p>7</p>	<p>●疑問詞を使った文の対話文を読んで，話題の膨らませ方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> sometimes などの頻度を表す語句や，for my family などの説明表現を理解する。 What (sport) do you like? の文構造を理解する。 教科書本文（P. 41）を通して，疑問詞の使い方や答え方を理解する。 疑問詞を用いた文を使ってお互いにインタビューをして話題を膨らませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: I like soccer. <u>What sport do you like?</u> B: I like baseball. I play it at school. A: Really? Are you a Carp fan? B: Yes, I am. I am a Kikuchi fan. A: That's nice.</p> </div>	<p>ア（行動観察） イ（ワークシート）</p>
<p>8 本時 実行</p>	<p>●お互いに尋ねたり，相手の質問に答えたりして対話を続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きなことについて相手に質問し，その答えに相づちを打ったり，さらに関連する質問をして対話を続ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: I like soccer. Do you like soccer? B: No, I don't. A: I see. <u>Do you like baseball?</u> B: Yes, I do. A: <u>What team do you like?</u> B: I like Carp. A: Oh, Carp. Me too. I am a Suzuki fan. B: Really? I am a Kikuchi fan.</p> </div>	<p>ア（行動観察） イ（後日パフォーマンステスト）</p>

後日	●パフォーマンステスト ・パフォーマンステストの実施 パフォーマンステスト	振り返り	まとめ・創造・表現	イ
----	---	------	-----------	---

9 本時の目標 興味があることについて、お互いに質問したり、答えたりしながら対話を続ける。
本時の指導計画（8時間目／全8時間）

	学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準[観点] (評価方法)
導入 15分	1 始めの挨拶 (day, date, weather, time) ○Warm-up (chants) ○Small Talk in pair ①Teacher Talk(JTE-ALT) Topic: "Favorite Season"	◇English Leader に曜日などの質問をさせて、英語の学習の雰囲気を作る。 ◇HF 2 のチャンツを聞いて既習事項を想起させる。 ◇JTE と ALT の「好きな季節」についてのやり取りを聞かせる。 ◇どんな相づちを打っているか、どんな質問をしているかに注目して対話を聞かせる。	
<p>JTE: What sesason do you like, Ms Kim? JTE: <u>Oh, summer.</u> Why? JTE: <u>Oh, really? Do you like swimming?</u> JTE: <u>I see.</u> JTE: I like winter. JTE: I don't like hot weather. JTE: Yes. I like skiing. <u>Can you ski?</u></p>		<p>ALT: I like summer. ALT: I like walking on the beach. ALT: No, I don't. But I like the sea. ALT: What season do you like, Ms Fujioka? ALT: <u>Oh really? Why?</u> ALT: <u>Do you like snow?</u> ALT: No, I cant.</p>	
	②S-S Interaction 1 ③Sharing ④S-S Interaction 2 ⑤T-S Interaction	◇前回とは違うペアでやり取りをさせる。 ◇分からなかったことをクラス全体で交流させる。 ◇ペアを変えて同じ話題でやり取りをさせる。 ◇生徒1名を指名してALTとやり取りをさせる。 ◇やり取りを聞く姿勢（相づちなどの反応）を評価する。	

<p>展開 25分</p>	<p>2 本時のめあて確認</p> <p>① やり取り 1 (2分)</p> <p>② sharing</p> <p>③ 本時の目標提示</p>	<p>◇クラスメイトとやり取りをする目的を確認する。</p> <p>◇新しい話題についてペアを変えてやり取りをさせる。</p> <p>◇本時の課題を各自に設定させる。</p> <p>◇うまくいかなかったことを本時で解決するにはどうしたらよいかを考えさせる。</p> <p>◇生徒から出た意見を板書し、本時の目標を提示する。</p>	
<p>課題 : 相手のことをよく知るために、どのように質問したり、答えたりしたらよいか。</p>			
<p>Today's Goal 興味があることについて、お互いに質問したり答えたりしながら会話をしよう。</p>			
	<p>④ やり取り 2 (2分×2)</p> <p>⑤ 発表</p> <p>⑥ ALT とのやり取り</p> <p>⑦ やり取り 3 (2分×2)</p>	<p>◆ペアで助け合うように指示をする。様子を見て発音や言い方など確認する。</p> <p>◇相手によって話題を選んで、やり取りをさせる。</p> <p>◇発表者の良いところを考える。</p> <p>◇自分たちに取り入れられることを発表させる。</p> <p>◇ALT との実際のやり取りを代表生徒にさせる。</p> <p>◇ALT が良かった点をクラスに伝える。</p> <p>◇やり取りの内容が深まるように、相手の応答に関連した質問をして、さらに相手のことを知ることができるようにペアでの活動をさせる。</p>	<p>ア (行動観察) イ (後日パフォーマンステスト)</p>
<p>A: I like soccer. Do you like soccer? B: No, I don't. A: <u>Oh, I see.</u> Do you like baseball? B: Yes, I do. A: <u>What team do you like?</u> B: I like Carp. A: <u>Oh, Carp.</u> Me too. I am a Suzuki fan. B: Really? I am a Kikuchi fan.</p>			
<p>まとめ 10分</p>	<p>3 本時の振り返りとまとめ 本時の課題に対するまとめを発表する。</p> <p>4 終わりの挨拶</p>	<p>◇本時の各自の課題が解決できたかを振り返って、書かせる。</p> <p>◇机間指導して、生徒の課題解決できたことと、できなかったことを確認する。</p> <p>◇数人の生徒を指名して発表させる。</p> <p>◇発表した生徒の振り返りを聞いて、どんな風に思ったか全体に投げかける。</p> <p>◇パフォーマンステストに向けて展望を持たせる。</p> <p>◇英語係の号令に合わせて元気よく挨拶をさせる。</p>	

10 板書計画

単元の目標 クラスメイトのことをもっと知ろう	
Today's goal	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>興味があることについて、お互いに質問したり答えたりしながら会話をしよう。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>weather: Sunny day: Tuesday, date: June 27th</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>相手のことをよく知るために、どのように質問したり、答えたりしたらよいか？</p> <p>(生徒からの意見を書く)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">相づち</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">くり返し</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">感想</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">質問</p> </div> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; height: 60px; text-align: center;"> <p>本時の流れ</p> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>相手の話す内容に相づちを打つ。繰り返して相手の言ったことを確認する。 相手が答えたことに関連する質問をする。</p> </div>	
Today's summary	

11 パフォーマンス課題の評価基準

評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力
A	間違えることを恐れず、習ったことを積極的に使って、やり取りを続けようとしている。	<p>○相手の質問に対して、新しい情報を加えて答えることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>A: I like soccer. Do you like soccer? B: No, I don't. A: <u>I see.</u> <u>Do you like baseball?</u> B: Yes, I do. A: <u>What team do you like?</u> B: I like Carp. A: <u>Oh, Carp.</u> Me too. I am a Suzuki fan. B: Really? I am a Kikuchi fan. A: <u>He is cool.</u></p> </div>
B	間違えることを恐れず、ジェスチャーを交えるなどしてやり取りを続けようとしている。	<p>○相手の応答に相づちを打つことができる。 ○相手の応答に関連する質問ができる。 ○相手の質問に適切に答えることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>A: I like soccer. Do you like soccer? B: No, I don't. A: <u>I see.</u> <u>Do you like baseball?</u> B: Yes, I do. A: <u>What team do you like?</u> B: I like Carp. A: <u>Oh, Carp.</u> Me too. I am a Suzuki fan. B: Really? I am a Kikuchi fan.</p> </div>
C	積極的にやり取りをしようとしていない。	<p>○相手の質問に対して答えることができない。 ○相手に質問することができない。</p>